

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年3月31日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年3月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【工具管理センターの貸出工具の不具合発生について】 工具管理センターの貸出工具のうち、貸出中に絶縁抵抗計1台およびガス検知器1台に不具合があることを確認。</p> <p>○絶縁抵抗計 ・状態:測定前に導通確認(ゼロチェック)を行ったところ、測定値がゼロにならない不具合を協力企業作業員が確認。その後、工具管理センターにて、委託作業員が同不具合を確認。 ・貸出実績(※)4件:2件は点検記録用として測定を実施した際に異常なく使用していることを確認。その他2件は借用のみで使用なしを確認。</p> <p>○ガス検知器 ・状態:可燃性ガス発生の可能性が無い場所において測定しようとしたところ可燃ガス異常警報の発生および酸素濃度0%の不具合を協力企業作業員が確認。その後、工具管理センターにて、委託作業員が同不具合を確認。 ・貸出実績(※)1件:1件は問題なく使用できており、異常は確認されていないことを確認。</p> <p>今後、不具合貸出工具を修理または破棄予定。</p> <p>※前回の点検校正実施日から不具合確認前までの貸出期間</p>	GⅢ	3月25日
2	<p>【乾式キャスク仮保管設備の乾式キャスク(3A)蓋間圧力(B)の指示値不良について】 当直員が乾式キャスク仮保管設備の乾式キャスク(3A)蓋間圧力異常を示す警報発生と、蓋間圧力(B)の指示値が計測範囲以下まで下降したことを確認。 当社社員が現場確認したところ、圧力増幅器(B)の故障を確認。 圧力計は二重化されており、蓋間圧力(A)は変動なし。 故障が確認された圧力増幅器(B)を交換し、異常がないことを確認済み。</p>	GⅢ	3月28日